(様式1)

第18回ドリームチャレンジ賞 応募申請書

(在学生のチャレンジ活動資金)

2024年 6月 17日

広島大学校友会会長 越智 光夫 殿

広島大学同窓会会長 原田 康夫 殿

校友会会員番号(13桁) _____

申請代表者 氏名 ふりがな ひらの よしき 平野 義貴 _____

所属・学年・学籍番号 文学部2年 _____

活動グループ又は所属 広島大学交響楽団 _____

電話(携帯) _____

Eメール(PC) _____@hiroshima-u.ac.jp

「第18回ドリームチャレンジ賞応募要領」に基づき、以下のとおり申請します。

活動テーマ

地域とつながる、身近なオーケストラを目指して

共同活動者	別紙共同活動者一覧の通り	共同活動者人数	101名
-------	--------------	---------	------

活動期間 : 6年 10月 1日 ~ 7年 9月 30日

1. 活動計画の概要

独創性・ドリーム性・チャレンジ性・社会貢献性・発展性をふまえて記述し、5つの項目それぞれの記載箇所には下線を引いてください。(1)~(5)合わせて1,200字以内でまとめてください。

(1) 活動テーマの背景

楽器の多様さにより様々な音色に七変化するオーケストラは、テレビや映画、ゲームに彩りを加えるために必要不可欠でしょう。一方で、厳かな空気を感じさせるためか、オーケストラ楽器やクラシック音楽に詳しい人、演奏を生で聴いたことのある人は多くはありません。そこで、その魅力を広めるため、オーケストラに興味を持つきっかけとなるような身近なオーケストラを目指します。

(2) 活動の目的

オーケストラに詳しい人はもちろん、生で聴いたことのない人、あまり興味のない人にも親しみを感じ、興味を持ってもらえることを目的に活動しています。地域とつながる身近なオーケストラを実現することで、オーケストラ独自の、オリジナリティ溢れる魅力を伝えます。さらにそこからより深く興味を持ち、毎日に彩りを加えてもらうことも目標です。簡単なことではないと思いますが、地域につながる身近なオーケストラとして挑戦していこうと考えます。

(3) 活動の必要性

毎年行っている音楽教室は、地域の小学校を訪ね、児童にオーケストラの魅力を伝える活動です。この活動はオーケストラを身近に感じてもらいつつ、音楽を大勢で作る楽しさ、音楽によって人の心を揺り動かすことへの驚きなどの魅力を伝える活動として、地域発展の上でも必要な活動だと考えます。これは地域とのつながりを作る機会でもあり、他者に魅力を伝えることでオーケストラの素晴らしさ、楽しさを再確認する機会でもあります。

サマーコンサート、定期演奏会では多くの方に楽しんでいただけるよう、こだわり尽くした内容となっています。来ていただいた方に心躍る時間と元気を提供するという音楽の持つ効果を発揮するため、必要な活動だと考えています。

また、音楽を通して学年、学部に関係なく交流することになります。共に活動をして運営をしていく関係性のもと、コミュニケーション能力、チームで動く力、考える力などを社会に近い場で養うことができます。これは社会で要請される能力として必要だと考えます。

(様式1)

(4) 活動の特徴

大学生になってからオーケストラを始めた人も多く、我々自身が感じる魅力や興味をもったきっかけを新鮮に伝えることが出来ます。音楽教室などでは音楽の楽しさ、楽器の魅力、オーケストラの面白さを楽しく伝えることを第一に考えています。また楽器経験者から初心者まで、音楽経験の多様さも特徴です。地域に生きる大学生として、地域に根差したオーケストラとしてできる活動をしています。

(5) 期待される結果

身近なオーケストラとしての活動によって、地域とのつながりを感じることが出来ます。また子供たちにオーケストラや音楽の魅力伝えることは、未来の音楽家が芽を出すためのきっかけにもなると考えます。自分たちの力だけでなく多くの人の支えがあって活動ができていることを実感し、より社会に貢献できるように一生懸命活動し、活動を離れた後も社会の中で自分のできることを考えるきっかけになると考えます。オーケストラを通して身近な人たち、私たち自身が豊かな人間性を育むことは、活動中もその後も豊かな人生へとつながります。

2. 活動実施計画 (2,000字以内) 具体的な活動実施計画の記載箇所に下線を引いてください。

・定期演奏会

令和5年12月	会場となるホールの予約
令和6年1、2、7、8月	演奏曲目の選曲、広告ポスターの作成、パンフレットの作成
同年10月から12月	ポスター貼りなどの宣伝活動、指揮者を招いてのホール練習、関係各所との打ち合わせ

・サマーコンサート

令和6年6月	会場となるホールの予約
年明けから春季休業	コンサートで演奏するための選曲・強化練習の開始、音響会社・楽器運送会社・特殊楽器との打ち合わせ、広告ポスターの作成、パンフレットの打ち合わせ、企画ステージでの劇台本の作成
令和7年4から6月	ポスター貼り・ラジオ出演等の宣伝活動、企画ステージ映像・小道具大道具作成、パンフレット作成、劇・演奏強化練習、サタケメモリアルホールでのリハーサル、音響会社・照明等との合わせ確認、ステージ転換の確認
同年5月下旬から7月下旬	会場でのリハーサル、本番

・音楽教室

令和6年12月	運営協議会にて希望日時の確認
年明けから2月	東広島市教育委員会に小学校での音楽教室開催の依頼
令和7年3月	開催校の決定、バスの手配
同年6月下旬	各開催校と担当者と訪問・打ち合わせ
同年6月	台本の作成
同年7月末から8月	強化練習、劇練習、小道具大道具作成、リハーサル
同年9月上旬	本番

(様式1)

3. 助成金交付申請額	500,000	(円)
-------------	---------	-----

(経費の必要性) 枠内におさまるように記載し、具体的内容の記載箇所に下線を引いてください。

オーケストラは迫力のある音色から穏やかな音色までを広い音域によって実現しているため、多くの人数を必要とします。広島大学交響楽団も100人ほどの人数で活動しています。よって活動する際に移動や楽器輸送などの経費がかかります。特に楽器は一人で運ぶことのできない大きなものもありながら、繊細なため、輸送の際には保険などの経費もかかることとなります。輸送のときだけでなく、いったん仕舞ってしまうと、次使う際に調整が必要になるなど、活動する上で欠かせない楽器ではありますが、それなりの経費が必要となり、大学生としての出費で賄える範囲を超えることもしばしばあります。費用の問題で楽器に支障をきたし、オーケストラを広める活動に影響が出ることは望ましくありません。良い形でオーケストラを知っていただくため、音楽の質と費用の問題は切り離すことは不可能です。また私たち広島大学交響楽団は身近なオーケストラとして、オーケストラに興味を持ってもらうこと、気軽に演奏会に来ていただくことを目標としているため、演奏会は無料で行っています。日々の楽器の管理に加え、ホールを借用や楽器の輸送などの演奏会に向けた経費、さらに自らの生活に必要な費用を考えると厳しいものがあります。実際に、入団する際に気になることとして費用のことを挙げる人も多くいます。大学生としての時間と活動を通して地域、多くの人とつながりを持つことの喜びや大切さを考えると、比べられるようなものではありませんが、どちらかをとらざるを得ず、団員に判断を迫ることは、一緒に活動していく中で望ましいことではありません。学生である以上、収入も限られ思うように行動ができない中で、学部・学年などの背景が様々な団員が、ともに音楽をすることで交流をしていくといった貴重な場となっている活動から遠ざかってしまうことは、一番避けたいことです。

地域とのつながり、そしてこれからの活動によってオーケストラに興味を持っていただける方のためにも、何卒ご支援を賜りますよう、よろしくごお願い申し上げます。

4. 収支予算計画 (支出予定額合計と収入予定額合計を一致させること。)

※実施計画全体に係る支出・収入経費(部費、参加費、大学や企業からの支援等、本支援以外の経費も含める)を記載すること。

※支出予定経費に記載した内容以外への支出は認めません。

●支出予定経費

経費区分	摘要(内訳)	金額(円)
設備備品・消耗品費	サタケメモリアルホール 付帯設備使用料 (本番1回、練習7回分) 照明音響技術料	401,400 137,500
	東広島芸術文化ホールくらら大ホール (本番1回) 付帯施設利用料	178,220
	照明音響技術料	55,000
	楽器費	542,865
	大道具小道具材料費	19,000
	チラシ・パンフレット	172,043
行事費		
交通費	楽器運搬トラック費	1,479,720
	団員移動用バス	130,000
	その他交通費	175,340
その他経費	楽譜費	314,400
	宣伝費	171,366
	録音録画写真	617,380
	人件費	2,011,461
	郵送費	43,700
	雑費	208,810
支出合計		6,658,205 円 令和6年度予算案をもとに概算

(様式1)

●収入予定経費（本支援を含む）

経費区分	摘要（内訳）	金額（円）
活動助成金	ドリームチャレンジ賞	500,000
演奏会積立金	当団員による演奏会積立金 （団費として徴収）	3,392,081
協賛広告金	パンフレットの協賛広告費	200,000
団費	団員から徴収	2,566,124
収入合計		6,658,205 円

5. その他

①前回ドリームチャレンジ賞の採択団体は、活動状況（進捗状況等）を200字程度で記載してください
昨年の12月に行った定期演奏会では多くのお客様に足をお運びいただき、迫力のある演奏とともにオーケストラの魅力を伝えられたのではないかと思います。また現在は7月7日に行われるサマーコンサートに向けて、演奏の練習はもちろん、お越しいただいた方に楽しんでいただけるよう準備を進めています。また9月の頭には3校の小学校で音楽教室を開かせていただくことも決定しており、そちらについても曲目の決定や小学校との打ち合わせなど着々と準備が進んでいる状況です。

② 他の機関等への重複申請・採択状況の有無について

有（

無

③ 指導教職員またはチューターの推薦 ※必須（推薦文がない場合は申請不可）

本楽団は毎夏、地域住民を対象の中心としたサマーコンサートを開催し、クラシックは勿論のこと、よく知られた映画音楽や流行歌などの作品を、オーケストラの生音で届けることにより、オーケストラに、より親しみを持ってもらう「生涯教育」としての活動を行っています。

また初等教育課程における「早期情操教育」として、毎秋小学校に出向き、オーケストラの鑑賞教育と併せて、子どもたちの楽器体験にも力を入れております。

そして年末には、偉大な作曲家が後世に残したオーケストラの名曲を演奏する「定期演奏会」を開催し、「音楽芸術」を広く聴衆に公演することで、音楽芸術分野の発展に大きく貢献しています。このように広島大学交響楽団の学生団員たちは、人間が人間らしく生きるために必要な音楽芸術分野を、単なる演奏活動としてのみならず、「早期情操教育」ならびに「生涯教育」としても広く価値付けながら精一杯、活動に励んでおります。また近い将来、自分たちが社会人として集団の中で生きるための術を、アンサンブル演奏と演奏会開催のための企画、団の運営を通して多角的に学んでおります。

しかし、オーケストラは大人数でのアンサンブル活動です。このような活動には個々の楽器のメンテナンス費をはじめ、備品代や楽譜代、コントラバスや打楽器をはじめとする大型楽器などの運搬費、会場費やイベントに関わる宣伝費など多岐にわたり、そのどれもが非常にコストのかかるものとなっています。これらの費用は、学生の団費だけでは到底賄い切れるものではありません。

このように、音楽芸術活動に情熱と力を注ぐ若き学生の活動に是非ともご支援をいただきますよう、お願い申し上げます。

指導教職員／チューター（所属）人間社会科学研究科・音楽文化教育学領域

（職名）教授

（氏名）高旗健次

2024年6月14日

（電話）

（E-mail）

@hiroshima-u.ac.jp

●申請書は4ページ以内で作成すること